



## 川上村が奈良県内で初めて介護現場に“パワードウェア”を導入 ～ 最新技術で村民の健康と未来を守る ～

### ■村民の健康を守り、いきいきと働くために導入

2020年12月、川上村の「社会福祉法人川上村社会福祉協議会」と「一般社団法人かわかみらいふ」に株式会社ATOUNの“パワードウェア”<sup>アトウン</sup>が7台導入された。導入を決めたのは、村民の暮らしを支える貴重な人材のケガや病気を予防する先行投資、という各団体の考え方によるものだ。

※ATOUNが開発した、あうんの呼吸で人間のパワーを引き出す、ウェアのように軽い「着るロボット」のこと。

ATOUNのパワードウェアは、使用者の腰の動きに追従してギアが回転し、太腿を引く力と背中から上体を引き上げる力が働くことによって、腰の負担を軽減させるもの。特に同じ姿勢で何度も反復するような動作に効果を発揮する。パワードウェア自体も約4.5kgと軽量で着脱も簡単。充電式で充電ゼロになるまで100%の力で動き、出力が弱くなることはない。

### ■県内初の介護現場での活躍が期待される

川上村社会福祉協議会は今回、県内では初めて介護施設にパワードウェアを導入した。介護の現場では、おむつ交換や移乗（ベッドに寝ている施設利用者を車いすに乗り降りさせること）など、中腰の体勢で作業する場面が多く、介助者の腰に大きな負担がかかっていた。また、パワードウェアは生活防水に対応しているため、清掃や入浴介助など水を使用する作業にも利用の幅が広がる。

今回導入された現場では、「全力を出しても出来なかったことがこのパワードウェアを使うことによって楽にできるようになる。介助者だけでなく施設利用者も今まで以上に日々を快適に過ごすことができるようになるだろう。これからたくさん使って慣れていきたい」と大きな期待が寄せられている。

### ■村民自らの地域を支える活動を後押しする

もう一つの導入場所である「一般社団法人かわかみらいふ」は、住民が自ら地域を支える活動を行う団体として、2016年に村民を主体として設立された。高齢者の日々の生活の不便を解消すべ

く、「移動スーパー運行やならコープの宅配」、健康をサポートする「看護師や歯科衛生士の移動スーパーへの同乗」、「村で唯一のガソリンスタンドの運営」など、同村にとって重要な役割を担っている。

今回のパワードウェアの導入によって大きな変化が期待されているのが「ならコープの宅配」だ。車の入れない狭い道路や100段近い階段のある家庭など、高齢者にとっては日々の食料雑貨を運ぶことが困難なため、村内では宅配を利用する家庭が多い。かわかみらいふの職員には女性や年配者も多く、これまで米やビールケースなどを運ぶ際には身体に大きな負担がかかっていた。

「簡単に装着するだけで楽に重い物を持ち上げることができる。こんなウェアを实际使うような時代が来るなんて、自分達が子供の頃には想像もしなかった世界だ」と現場で働く女性がもらった言葉に、今回のパワードウェア導入が村にもたらした大きなインパクトが感じられる。

(村井 渚、八木陽子)



(左上から時計回りに) 株式会社ATOUNのパワードウェア「MODEL Y」/ 荷物の積み込み作業の様子 (かわかみらいふ) / パワードウェアの装着の様子 / 移乗の練習の様子 (川上村社会福祉協議会)